The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

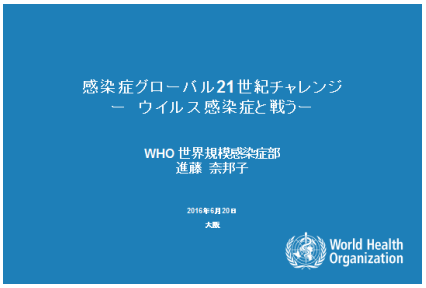
Title	目で見るWHO　第60号　事務局だより・奥付等
Author(s)	
Citation	目で見るWHO. 2016, 60, p. 26
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/86659
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

●事務局だより



「WHO での私の仕事と体験 !」と題して講演される WHO 健康安全局感染部調査官の進藤奈邦子氏

6 月 20 日、マイドームおおさかにおいて、世界保健機関（WHO）で感染症対策の責任者としてご活躍中の進藤奈邦子氏を迎え、「WHO での私の仕事と体験 !」と題した講演会を開催しました。

SARS、インフルエンザ、エボラ出血熱、中東呼吸器症候群(MERS)など、様々な感染症の流行の際の WHO の対応や、最前線での活動状況をご自身の経験を交えながらお話いただきました。また、今回の講演会は、国際保健医療に関心のある学生の皆さんを主な対象としたものでしたので、国際機関で働く際の心構え、難しさ、キャリア形成などご自身の体験を通した率直なお話をいただきました。

「糖尿病の常識・非常識」と題して講演される北播磨総合医療センター病院長の横野浩一氏

翌 21 日には、同じマイドームおおさかにおいて、本年の世界保健デーのテーマの「糖尿病」を取上げてフォーラムを開催しました。最初に当協会理事長の関淳一氏が「世界保健デーの意義」について話したあと、永年糖尿病と老年医学を研究されてきた、北播磨総合医療センター病院長の横野浩一氏が「糖尿病の常識・非常識」と題して講演されました。

少子化・超高齢社会において、孤立化する高齢者が長寿社会を満喫するには、健康寿命を延ばすことであり、この健康寿命を損なうのが生活習慣病であり、その中心に 2 型糖尿病があるときりだされ、生活習慣のうちの休養習慣についてふれられながら、糖尿病・生活習慣病対策をお話しになりました。

この二つのフォーラムの講演録は、機関誌『目で見るＷＨＯ』61 号に掲載する予定です。

定時社員総会ご報告

公益社団法人日本 WHO 協会では､6 月 21 日に定時社員総会を開催し､2015 年度事業報告並びに決算報告が承認され､定款変更案、理事の選任案及び監事の選任案が可決されました。

また、社員総会後の理事会において、関淳一理事を理事長に選定致しました。

役員構成や事業報告等につきましては、当協会ホームページ「日本 WHO 協会について」から、改正定款は「諸規程」から閲覧していただけます。

お申し込みはこちら

http://med.saraya.com/sm/1687o/

※オンラインでお申し込みいただけます。
FAXをご利用のお客様は下記FAX用参加申込用紙にご記入の上、お申し込み下さい。

▶**FAX：06-6209-0242** 事務局 サラヤ株式会社 学術部内 講演会事務局行（番号のお間違えのないようにお願いします）

FAX用参加申込用紙

第20回関西感染症フォーラム（FInD）

個人情報の「利用目的について」はこの枠内をご参照ください。

ご記入いただきました、お名前、ご住所、お電話番号等の個人情報は、弊社セミナー等の情報提供の為以外には利用いたしません。
詳しくは、http://www.saraya.com/privacy/でご確認ください。お電話でのお問い合わせは、06-6797-3111■人情報担当（平日9時～18時）までお問い合わせください。

フリガナ ご施設名	
フリガナ 勤務先 ご住所	〒 都道 府県 後日、ご記入頂いたご住所に受講票をお送りいたしますので、漏れなくご記入をお願いします。
TEL	（　　）　　―
FAX	（　　）　　―

ご所属部署	職種	参加者ご氏名
		フリガナ

ご質問記入欄（感染対策Q&Aで取り上げさせていただきます。）

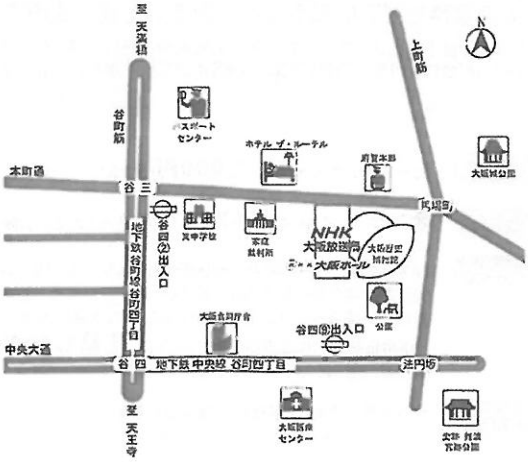
●後日送付いたします「受講票」は必ず受付へご提出下さい。

会場のご案内

NHK大阪ホール
〒540-8501　大阪市中央区大手前4-1-20
TEL:06-6937-6000

交通アクセス
地下鉄中央線「谷町四丁目」9号出口すぐ
地下鉄谷町線「谷町四丁目」2号出口より徒歩約3分

駐車場
駐車台数に限りがございます。(有料)
ご来場の際は公共交通機関をご利用願います。



お問い合わせ

サラヤ株式会社　学術部内　講演会事務局
〒541-0051　大阪市中央区備後町 4-2-5
TEL:06-4706-3938　FAX:06-6209-0242

FInD in Kansai

第20回関西感染症フォーラム

近年、世界的な規模で新たな感染症患者発生に関するニュースが多いと思いませんか？
2012年以降だけでも国内で発生した重症熱性血小板減少症候群（SFTS）やデング出血熱、西アフリカで流行し米国でも発生したエボラ出血熱（EHF）、韓国で大量の医療従事者の院内感染者を出した中東呼吸器症候群（MERS）、そして今、新生児小頭症が問題視されているジカウイルスが注目されています。病院職員としては、自分と患者さんを感染から守るために常に新たな感染防止に関する情報の入手と実践が大切です。24時間以内に南米のアマゾンから帰国できるようになった現在、グローバルな感染管理が要求されています。あなたは大丈夫ですか？
本研究会を新たな情報交換の場として多数ご参加いただきますようお願い申し上げます。

代表世話人　一山　智

日時　2016年8月7日（日）
13:00-17:00（開場 12:00）

場所　**NHK大阪ホール**

	総合司会	大阪大学大学院医学系研究科　招聘教授	浅利　誠志先生
13:00-13:05	ご挨拶	京都大学大学院　教授／京都大学医学部附属病院　副病院長	一山　智先生
13:05-13:20	話題提供		サラヤ株式会社
13:20-14:20	**グローバル化時代の感染症とその対策**		
	座長	大阪労災病院　肝胆膵外科　部長	清水　潤三先生
	講師	国立感染症研究所　感染症疫学センター　センター長	大石　和徳先生
14:20-15:20	**ＣＲＥ感染対策**		
	座長	大阪大学医学部　保健学科看護学専攻　教授	牧本　清子先生
	講師	大阪医療センター　感染症内科　科長／感染制御部　感染制御室長	上平　朝子先生
	休憩　20分		
15:40-16:40	**ノロウイルス感染症・食中毒の現状と対策**		
	座長	国立感染症研究所　感染症疫学センター　第三室　室長	多屋　馨子先生
	講師	国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部　第四室　室長	野田　衛先生
16:40-17:00	**感染対策Q&A**		
	進行	大阪大学大学院医学系研究科　招聘教授	浅利　誠志先生

感染対策Q&Aでは皆様からのご質問をもとに議論を進行する予定となっております。感染対策について日頃の業務で疑問に思うこと、何でも結構ですので参加申込の際にご記入の上送信してください。
※ご質問内容を紹介させていただく際にお名前やご施設名等を公表することはありません。
※時間の都合により全てのご質問にはお答え出来ない場合がございますので、予めご了承ください。

参加費用　お一人様テキスト代込み**1,000円**（当日受付にてお支払いください。領収書を発行いたします。）

申込方法　**オンライン**もしくは**FAX**にてお申し込みください。（詳細は裏面をご参照下さい）

特記事項　FAXでお申し込みの場合は申込受付後、事務局より「受講票」をお送りします。（7月上旬より順次送付予定）受講票は当日受付にご提出ください。お申込が開催1週間前を切りますと、受講票の発送が間に合わない場合がございます。その際は、当日会場にお越しいただき、お申込みいただいたFAX用紙を受付にご提出ください。なお、**定員1,400名**となり次第締め切らせて頂きます。受付は先着順となりますのでお早めにお申込み下さい。

お問い合わせ先　サラヤ株式会社 学術部内　講演会事務局　〒541-0051 大阪市中央区備後町4-2-5
TEL:06-4706-3938　FAX:06-6209-0242

特典

当フォーラムは日本医師会生涯教育制度、兵庫県・奈良県病院薬剤師会生涯研修制度に該当する会として所定の単位が認定される予定です。

当フォーラムの受講証明書により認定看護師認定更新時の自己研鑽ポイント（研修プログラム参加1点）の申請が可能です。

共　催：関西感染症フォーラム（FInD in Kansai）／公益社団法人日本WHO協会／サラヤ株式会社

東アフリカ感染症会議

マタニティセンターでの手洗い教育

ゴンベ病院でのパイロットプロジェクト

100% HOSPITAL HAND HYGIENE PROJECT!

SARAYA

病院で手の消毒100%プロジェクト

東アフリカでの院内感染をなくすために。
SARAYAは、アルコール手指消毒剤の普及を進めています。

出産時、産後の手指消毒の徹底

開発途上国では十分な設備がないまま出産するケースが未だ多くみられ、
新生児死亡率や乳児死亡率が高い国がたくさんあります。
そのためSARAYA East Africaでは出産時、産後の手指消毒の徹底を推進しています。

WHO（世界保健機関）は
医療従事者の手指衛生を徹底し院内感染予防を目指す
「Clean Care is Safer Care」キャンペーンを
途上国、先進国問わず世界中の医療現場で推進しています。

SARAYA サラヤ株式会社
大阪市東住吉区湯里 2-2-8
0120-40-3636 http://www.saraya.com/

SARAYA East Africa
Address: P.O. Box 23740, Kampala, Uganda Tel: +256-(0)312-72-72-92
Email: info@saraya-eastafrica.com Web Site (Eng): http://worldwide.saraya.com/

グローバルな視野から健康を考え、国の内外で人々の健康増進につながる諸活動とWHO憲章精神の普及活動を展開しています。私たちの活動に賛同し、継続的ご支援頂ける方のご入会をお待ちしています。

会員種別	年会費	
正会員 個人		50,000円
正会員 法人		100,000円
個人賛助会員	1口	5,000円
学生賛助会員	1口	2,000円
法人賛助会員	1口	10,000円

※公益社団法人 日本WHO協会推奨商品等の禁止について

当協会では、特定の商品やサービスについてその品質性能等をWHOに関連付けて評価・認定・推奨するような活動は一切行っておりません。また、会員に対しても倫理規定を設け、当協会名を利用して消費者に誤認を与えるような商品販売・広告等の営業活動を行うことのないよう周知徹底いたしております。もし、当協会が関与したかのような事象にお気づきの場合には、事務局までご一報下さい。　公益社団法人日本WHO協会

機関誌　目で見るWHO　第60号

2016 夏号　平成28年 7月11日 印刷
平成28年 7月20日 発行

発行者　関　淳一
発行所　公益社団法人 日本WHO協会
〒540-0029　大阪市中央区本町橋2-8
大阪商工会議所ビル5F
TEL 06-6944-1110　FAX 06-6944-1136
E-Mail info@japan-who.or.jp
URL http://www.japan-who.or.jp/
印　刷　大光印刷株式会社　TEL 06-6714-1441

無断転載お断りします